

## 無事故・無災害で

待避場拡幅整備現場で

佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は12日、富山県小矢部市と氷見市で施工する「R1高岡・能越管内待避場等整備工事」の現場で、安全パトロールを実施した。写真。建設業年末年始労働災害防止強調期間に合わせた取り組みで、石井社長や堂尻伸二工事本部安全環境部長、高畑一幸中日本支店長、坂井芳成北陸支店長らが参加した。

同工事は、国道8号小矢部市桜町地内および国道160号氷見市中波地内での待避場の拡幅・整備と国道8号本線の修繕をアスファルト舗装で実施するもの。工期は9月3日から2020年2月28日までとなっている。

パトロールは、長時間労働の削減を始めとした働き方改革の実施状況や下請事業者に



対する適正な発注内容などの確認、年末年始休暇期間の現場の保安対策の実施確認などを重点的に見て回ること、安全や作業環境などの事態把握とその対策を指導することを目的としている。

石井社長は、「現場では多くの重機が稼働している。重機の死角を全員で確認し、前後進時の接触事故防止に努めてほしい。また、今後現道部は夜間工事になるが、一般車に分かりやすい交通規制を心がけ、無事故・無災害で工事を完成させてほしい」と呼び掛けた。

